

旭川の冬を盛り上げる地域資源として、雪を活用していきます



市長が、旭川のまち・人・物などについて思うことをお伝えします。

平成28年も残りわずかです。振り返ると、今年も様々な出来事があり、あっという間の1年でした。

さて、今年は例年より早くからまとまった量の雪が降りましたが、国内でも有数の寒冷地である本市では、年間で500cm以上の降雪量となります。初雪が降る10月頃から4月頃まで、1年の約半分は雪に接して生活することになり、冬タイヤへの履き替えや雪かき



など負担も少なくない一方で、雪国だからこそその楽しみもたくさんあります。

市内にはパウダースノーを楽しめるスキージャンプ場もあり、旭山動物園の見どころの1つであるペンギンの散歩は、積雪を上手に活用した行動展示です。また、本市の冬を代表するイベントとして親しまれている旭川冬まつりやバーサロペット・ジャパ

ンには、市民をはじめ国内外から毎年多くの方々を訪れ、冬ならではのにぎわいを生み出しています。

先日、市役所を訪れたタイからのお客様が、積もった雪にとっても感激していたのが印象的でした。時に厄介者でもある雪ですが、重要な地域資源の1つとしてしっかりと活用しながら、これからも旭川の冬を盛り上げていきたいと思っています。

西川 将人

西川市長のまごに一言
FMリバー FM83.7MHz
12月22日(木)
午後4時〜4時15分

旭川市の広報番組

テレビ

●マイタウンあさひかわ (手話通訳付き) HBC

12月25日(日)

午前6時30分〜45分

「寒い冬は旭川であったまろう! (仮題)」

●旭川市民ニュース STV
毎週土曜日

午前11時54分〜58分

●わくわくライブ旭川
ケーブルテレビポテト 11ch
毎週土曜日

午後1時〜1時30分のうち、15分間

ラジオ

●市からのお知らせ

FMリバー FM83.7MHz

毎月第1〜3木曜日

午後4時から約5分間

クイズに答えて

プレゼントを 当てよう!



●問題 今月号の特集のタイトルは「〇〇楽しむ寒さを生かす」です。〇〇に入る言葉は?

●応募方法 はがきかファックス、電子メールに、答・住所・氏名・年齢・電話番号と広報誌を読んだ意見や感想、取り上げてほしいテーマなどを記入して、1月5日(木)までに下記の応募先へ。正解者の中から抽選で10人に、雪だるま形のホワイトチョコレートと、砂糖をまぶした一口クッキーのセットをプレゼント。11月号の正解は「手話」、応募は135通でした。

●応募先 〒070-8525 旭川市6条通9丁目
旭川市役所広報広聴課「広報クイズ係」

☎25・6515 ✉kohoquiz@city.asahikawa.hokkaido.jp



夜間・休日等の当番医は

北海道救急医療情報案内センター

一般電話からはフリーダイヤル

☎0120・20・8699

携帯電話からは

☎011・221・8699

旭川市医師会

携帯版



市の主な相談窓口

※開設日時は窓口によって異なります。

●子供に関する相談や
児童虐待の通報・相談

☎26・5500

●女性が抱える問題や
配偶者等の暴力の相談

☎25・6418

●ひとり親家庭等の相談

☎25・9107

●高齢者の介護に関する相談

☎25・9119

●障害がある方の総合相談

☎73・5936
FAX 73・5937

子供からの相談電話

子どもホットライン (無料)

☎0120・528506

平日午前8時45分〜午後5時15分
(月・木曜日は午後8時まで)

表紙の 写真



外国樹種見本林(神楽7の8)をスノーシューで歩きませんか。旭川市民体育の日に同所でスノーシュー体験を開催(本誌17ページ)。リスなどの動物たちに出合えるかも。